

◎ よもよも原稿 2018.4月～9月

月	赤ちゃんから		ちいさなお子さんから		ちいさなお子さんから	
4	 <p>『あ・あ』 三浦太郎/さく・え 童心社</p> <p>あかちゃんは天才！なんでも「あ・あ」つていうことばだけでつじろよ。たのしいっていつているのかな？いろいろなことばのさいしょは、なんでもないことばから。たくさんことばをおぼえて、たくさんたくさんおはなししよう。</p>	 <p>『あいうえおおきなだいふくだ』 たるいしまこ/作 福音館書店</p> <p>「あ」は、あんこたっぷりのだいふく。「い」は、いきなりどーんともりのなか。あいうえおではじまるお話に、ハラハラドキドキ。おおきなおおきなだいふくはどうなってしまうのでしょうか。おはなしとしてもたのしめる一冊です。</p>	 <p>『ばんつくったよ。』 平田昌弘/作 平田景/絵 国土社</p> <p>「ねえねえ、きょう、ばんつくったよ」「え？ばんつ、くったの？」「ちがうちがう。ばん、つくっただよ！」っていう会話(かいわ)がきこえてくるような絵(え)がたくさんはいています。すこしぶんをくぎるだけで、ちがういみになるなんてふしぎです。</p>			
5	 <p>『おでかけばいばい』 はせがわせつこ/ぶん やぎゅうげんいちろう/え 福音館書店</p> <p>にわとりさん、おでかけ、ピタコン、ピタコン。ねこさんも、ねっこ、たっこ。かえるさんはベッチョ、パッチョ。みんなどこへ行くのかな？声に出して読んで楽しい赤ちゃん絵本です。</p>	 <p>『おべんとう』 小西英子/さく 福音館書店</p> <p>おべんとうばこを用意して、さあて何から入れようか？ふくらほかほか、たきたてごはん。おべんとうの中身をひとつずつ順番に詰めて…どんなおべんとうができるかな？</p>	 <p>『ふうこちゃんのリュック』 スズキアツコ/作・絵 ひさかたチャイルド</p> <p>今日は楽しいピクニック。でも、ふうこちゃんは、首をかしげて言いました。「なんだかあたしのリュックずいぶん重いみたい。」リュックは、とても重くてうまく歩けません。ふうこちゃん、なに持ってきたの？心がほっこりするお話です。</p>			
6	 <p>『こぐまちゃんおはよう』 わかやまけん/え こぐま社</p> <p>こぐまちゃん、おはよう。ごあいさつをすると、いちにちのはじまりです。かおをあらったらあさごはん。ごはんのあとはおもちゃのじかん。あそんだあとは？こぐまちゃんといっしょにできるかな？</p>	 <p>『ねこどけい』 きしだえりこ/さく やまわきゆりこ/え 福音館書店</p> <p>こぐまちゃんの家にある、鳩時計。猫のねねこは、鳩時計のはと遊びたくてしかたありません。はと遊びようと、ちょっかいをかけるけど、とうとうはとは出てこなくなっちゃって…。</p>	 <p>『ごはんのじかん』 レベッカ・コップ/ぶん・え おーなり由子/やく ポプラ社</p> <p>「ごはんよー」ご飯の時間になるとママがよぶこえ。でもわたしまだおなかがすいてないの。すると、テーブルの下から声！ワニたちがご飯をたべてもいい？だって、こんな時みんなならどうする？</p>			
7	 <p>『ぼななちゃん』 ひろかわさえこ/さく 偕成社</p> <p>ぼななちゃんたちが目を覚ましました。伸びをして、皮を脱いで…。ぼななちゃんたちは、何に変身するのでしょうか？やさしい色合いと、リズムカルな言葉がかわいい、赤ちゃん絵本です。</p>	 <p>『とまとさんがね…』 とよたかすひこ/さく 童心社</p> <p>まっかなふたりのとまとさんが、まげをむすんでおすもうさんになった。はっけよ～い、のこった！ガッツーンとぶつかりあったとまとさんたちは…。ごはんの時間が楽しくなりそう。</p>	 <p>『くだものさん』 tupera tupera/さく 学研教育出版</p> <p>果樹園でくだものさんがかくれんぼ。くだものさん、くだものさん、だあれ。ぼろりん、と落ちたのは、りんごさん。カラフルなくだものさんがいっぱい、楽しいしかけ絵本です。</p>			
8	 <p>『ひゅりはなび』 新井洋行/さく 講談社</p> <p>ひゅるひゅるひゅる…ぱーん！！ たーまー！！ かーぎやー！！ きょうはどうぶつたちのはなびたいかい！うさぎさん、いるかさん、へびさん それから…？どのはなびもきれいだね！めくると花火があがる楽しい仕掛け付！</p>	 <p>『わにわにのおてかけ』 小風さち/ぶん 山口マオ/え 福音館書店</p> <p>わにわには、よるがやってきたのに、ねむれません。おや？みんな、どこにいくんだろう？ついていってみよう！なつのよる ならではののおたのしみ♪ わにわにくん、どこへいったのかな？</p>	 <p>『はなびのひ』 だしろちさと/作・絵 佼成出版社</p> <p>きょうは…まちにまつた、はなびたいかい！ぼんきちは、はなびのじゅんぴをする おとうちゃんへ、やしよくをとどけに いきます。すると、うきうきしながらかける、ぼんきちをみた、まちのひとたちが…。</p>			
9	 <p>『ぶくちゃんのたぐさんだっこ』 ひろかわさえこ/さく アリス館</p> <p>ぶくちゃんは、だっこが大好き。おばあちゃんのは、ほんわかだっこ。おじいちゃんのは、ゆったりだっこ。おとうさんのは、しっかりだっこ。そして、おかあさんのは…。</p>	 <p>『じいちゃんバナナ ばあちゃんバナナ』 のしさやか/作・絵 ひさかたチャイルド</p> <p>とても良い色に熟したバナナくんのおじいちゃんとおばあちゃん。ある日、皮をぬいで、おじいちゃんはチョコバナナに、おばあちゃんはアイスバナナになった！近所のじいちゃん、ばあちゃんたちも変身して…。</p>	 <p>うさこちゃんのおじいちゃんとおばあちゃん ディック・ブルーナ/ぶん・え 福音館書店</p> <p>うさこちゃんは、時々おじいちゃんとおばあちゃんに会いに行きます。おじいちゃんにスクーターを作ってもらった、うさこちゃんは、とてもよるこんで…。</p>			

◎ よもよも原稿 2018.10月～3月

月	赤ちゃんから	ちいさなお子さんから	ちいさなお子さんから
10	<p>『おつきさまのかぞえうた』 新井洋行/さく えほんの社</p> <p>よるのおそらで おつきさまがうたっているよ。ねこにおぼけ、おもちゃによい子たち。みんなみんなおやすみなさい♪ ひとつふたつとかぞえていくかぞえうたのえほん。赤ちゃんをやさしく眠りにいざないます。</p>	<p>『おぼけマンション』 鈴木翼/文 村上康成/絵 世界文化社</p> <p>ここはおぼけがすむ、おぼけマンションの魔女のへや。遊びにきたデーテルクんとスケーテルちゃんに料理をだしてくれただけけど…。コウモリの唐揚げをたべたら、デーテルクんの頭が大変なことになっちゃった?!</p>	<p>『おかしな？ハロウィン』 ザ・キャビンカンパニー/作 ほるぷ出版</p> <p>きょうはハロウィン！おぼけに化けるとおかしがもらえる、すてきな日！いえの中ではおぼあきんが大忙し！とんとんとん… ほらほらこどもたちがやってきましたよ。あれあれ？このおかし何(なん)だかへんだぞ？ ちょっとかわったハロウィンはいかが？</p>
11	<p>『じょうず じょうず』 まついのりこ/作・絵 偕成社</p> <p>くつ、はけるかな？ボールなげられるかな？赤ちゃんや小さい子に分かりやすい、はっきりとした絵で表現されています。親子で楽しめる絵本です。</p>	<p>『そらまめくんのベッド』 なかやみわ/さく・え 福音館書店</p> <p>そらまめくんの宝物はベッド。くものようにフワフワで、綿のようにやわらかい。えだまめくんたちがうらやましがりますが、絶対使わせようとしません。ところが、そのベッドがなくなってしまい…。</p>	<p>『さっちゃんとかあちゃん』 わかやまけん/著 こくま社</p> <p>お姉ちゃんになったさっちゃん。だけど、赤ちゃんが家に来てから、さっちゃんはお母さんに「いけません、いけません」とばかり言われてばかりで…。</p>
12	<p>『みかんちゃん』 ひろかわさえこ/さく 偕成社</p> <p>みかんちゃん、ぎゅうぎゅうぎゅうはこのなかに、い〜っぱい！ みんなでよいしょと、とびだして… それいけ！はしれ！わっせわっせ！よいこらしよ！ 冬のさむ〜い季節にぴったりのみかん。親子で声にた〜て読んでみませんか？</p>	<p>『十二支のおもちつき』 すとうあさえ/さく 早川純子/え 童心社</p> <p>ことしももうすぐおわり。おじいさんのおうちにやってきたのは、おなかをすかせたねずみ。つぎのひ、もらったもちごめのお礼に、もちつきを手伝いきたんだけど、そのなかまというのが、これまたびっくり！十二支ってなんだろう？おうちのひとにきいてみよう。</p>	<p>『のんびりやのサンタクロース』 山田マチ/作 田中六六/絵 あかね書房</p> <p>サンタさんって、いつくるんだっけ？ そう、だいせいかい！クリスマスだね。 すてきなプレゼントをくれるよね！あのワクワクはたまらない！だけどなかに、とってもものんびりなサンタさんもいて…。いつくるのって？ それが“おおみそか”なんだ！びっくりだよ！</p>
1	<p>『ねむいんだもん』 福田幸広/しゃしん ゆうきえつこ/ぶん そうえん社</p> <p>動物たちが、おひるねをしているところを見たことがありますか？イノシシがリスがウマが。むにやむにや、うとうと「だ〜ってねむいんだもん。」そんな声が聞こえてきそうです。</p>	<p>『おしれのんのんさん』 風木一人/作 にしむらあつこ/絵 岩崎書店</p> <p>山から下りてきたイノシシの、のんのんさん、お店で買った服を着てご機嫌でしたが、帽子が飛んで川に落ちてしまい…。のんのんさんが街で巻き起こす大騒動を描いた、みんなが笑顔になる絵本です。</p>	<p>『うりぼうのごちそうさがし』 国松エリカ/著 佼成出版社</p> <p>もうすぐ春。いのしし家さんとうりぼうたちの、ごちそう探しのおけいごが始まります。山菜やたけのこ、沢がに…おいしいもの、見つかるかな？ いのしし一家の、ほのぼの絵本です。</p>
2	<p>『いそいでいそいで』 たなかとよみ/絵と文 あすなろ書房</p> <p>トラちゃん、ミケちゃん、はしるはしる。すずをりりんならし、おつきはジャンプぴよーん！ あらあらこまった！おおきないぬがとおせんぼ。すきまをすりとすりぬけ、それにけろ。ねこさん、ねこさん。そんなにいそいでどこいくの？</p>	<p>『こねこがいっぱい にゃんにゃんにゃん!』 スーザン・メイヤーズ/ぶん 福本友美子/やく 岩崎書店</p> <p>こねこがいっぱいいるよ。 とらねこ、みけねこ、つやつやこねこ。 おひげをなめてキレイキレイ。 ごはんをたべたら、しゅっぱつしんこう！ けいとをひっぱり、カーテンにのぼり、ふくらにもぐってかくれんぼ。おつきはなにをしようかな？</p>	<p>『ねこです。』 北村裕花/作 講談社</p> <p>これはなんでしょう？ねこです。じゃあこれは？モップ？おもちゃ？けいとだま？おはぎ？それとも…つちのこかな？ いえいえ、だいたいねこなんです。 こつちをじーっとみているねこ。おなかをだしてねてるねこ。みんなみんなぐるぐるにやーお。</p>
3	<p>『おうちへかえろ』 三浦太郎/さく・え 童心社</p> <p>おうちへかえろ、手をつないでかえろ。ねずみさんのおうちは、ちいさなくつのおうち！うさぎさんのおうちは…？ おうちへかえれば、かならず家族が待っていてくれる。あたたかな家族のぬくもりが心に残ります！はっきりした色づかいで、ページをめくるたびにワクワクしてくる絵本です。</p>	<p>『くすのきだんちへおひっこし』 武鹿悦子/作 末崎茂樹/絵 ひかりのくに</p> <p>野原にたつ「くすのきだんち」。そこには、色々な動物が仲良く暮らしています。春風にさわられて、かえるさんが野原にやってきました。管理人のもぐらのもぐらさんは、かえるさんに空き部屋を見せてくれますが…。楽しくて心が温まる、お話です。</p>	<p>『そらいろのたね』 なかがわりえこ/文 おおむらゆりこ/絵 福音館書店</p> <p>ゆうじは、野原でもけいのひこうきを飛ばしていました。そこに森のきつねがあらわれて、ひこうきと「そらいろのたね」を交換することになりました。ゆうじは庭にたねを埋めて育てていましたが…。最後は思いがけない終わりがたで、繰り返し読んでしまいたいそう。やさしい色づかいの絵本です。</p>

月	ていがくねんから		中学年から		高学年から	
4		『だじゃれ日本一周』 長谷川義史/作 理論社		『らくごで笑学校』 斉藤洋/作 陣崎草子/絵 偕成社		『まさかさかさま回文めいじん』 ながたみかこ/文 多屋光孫/絵 汐文社
		だじゃれってちょっとむずかしいけど、きがつくとおもしろい。みんなが住んでるのはふくおかけん。ふくおかけんのだじゃれは「ここにきがえのふくおかけん」県名をつかっただじゃれが日本一周します。いつのまにか都道府県をおぼえて、お！とくだね！！		「にゆうがくおめでとうございます」っていても普通の小学校じゃありません。ここはらくごの笑学校。おもしろくてオチがある、学校行事の創作落語が入学から卒業まで7話はっています。テンポのいい文章なので、あつという間に読めそうです。		回文とは、うえからよんでもしたからよんでもおなじことばになる文のこと。例えば「けなげなけ」「くちからちく」などなど。いろいろな回文がのっています。つくりかたものっているので、じぶんでもつくってみよう！
5		『やまのぼり』 さとうわきこ/さく 福音館書店		『はなのすきなうし』 マンロー・リーフ/おはなし ロバート・ローソン/訳 岩波書店		『森のいのち』 小寺卓也/作・写真 アリス館
		「いよいよ春だねえ。やまのぼりでもするか。」ばばあちゃんのことばを聞いて、みんな大賛成。森の動物たちとやまのぼりの準備を始めたら、荷物がいっぱいになってしまいました。そこで、ばばあちゃんに名案が浮かびました。		スペインのある牧場で暮らす牛のフェルジナンドは、小さな頃から花が大好き。他の牛たちは闘牛場で勇敢に闘うことを夢見ているのに、フェルジナンドだけは花の匂いを静かにかいでいました。そんなある日、闘牛を探しに牛買ったちがやってきて…。		森はしんと静まりかえっている。でも、耳をすませば、ほら…いのちの息づかいが聞こえてくる…。 「自然と人といのちのつながり」をテーマに、北海道の阿寒や東大雪の森を撮影した写真絵本です。
6		『オオカミさん、いまなんじ？』 デビ・グリオリ/作・絵 長友恵子/訳 すずき出版		『アインシュタインとタイムトラベルの世界』 佐藤勝彦/著 幻冬舎エデュケーション		『7分間でソッとする7つの話』 山口タオ/著 講談社
		朝の7時です。オオカミさんの朝は、くろつぐみの声からはじまります。8時に3匹のこぶたが仕事にでかけ、9時にはあかずきんちゃんがゆうびんはいったつ。いろいろなおとぎ話の子がまぎれてるよ？どのお話の子がいるかさがしてみよう！		走っている乗り物の中で、真上にりんごを投げたら？未来に行くことはできるの？歴史ってかえられる？パラレルワールドってどんな世界なの？時間に関係するいろんな疑問。トキオ君とココミちゃんと一緒にトリノ博士に聞いてみよう！時間旅行 できるのかな？		ようこそ、ほらあ堂へ…。青空に、流れ星が流れるふしぎな町。イチヨウ並木の通りをいくと、ガラクタが並ぶ変なお店。そこにはこわ〜い話売っている。悲鳴をあげても外へはきこえない…。短い話が7つはっているよ。
7		『ためたぬすいか』 白土あつこ/作・絵 ひさかたチャイルド		『カラスウリ』 藤丸篤夫/しゃしん 有沢重雄/ぶん そうえん社		『どうして野菜を食べなきゃいけないの？』 川端輝江/監修 せのおしんや/絵 新星出版社
		たつくんがじいじにすいかを届ける途中、ためきが現れて言いました。「ねえねえ、すいかわりってしたことある？」「つめたいすいかジュースおいしいよ」。たつくんは、ちゃんとすいかを届けるかな？		かわいい真っ赤な実をつけるカラスウリ。夏の夜、真っ白いレースのような花を咲かせます。とてもきれいなこの花には、面白い秘密があります。カラスウリの生態を写真で紹介しします。		やさしく学べる！食べることがもっと楽しくなるように、80品の食べものがキャラクターで登場。子どもたちの素朴な疑問に答えながら、栄養素について紹介します。
8		『おぼんぼんぼんぼんおどりの日！』 ますだゆうこ/作 たちもとみちこ/絵 文溪堂		『ぞくぞく村のにじ色ドラゴン』 末吉暁子/作 垂石真子/絵 あかね書房		『知って楽しい花火のえほん』 冨木一馬/作 あすなろ書房
		大好きなおばあちゃんが無くなって、はじめてのおぼん。こなつはさびしくてたまりません。するとお母さんが、おぼんだからかえってきてくれるよおしえてくれる？親子で学べるおぼんの豆ちしき付！		レインボームーンの夜は、花火屋の虹色ドラゴンによる大花火大会！実はこの花火、うまく捕まえてすくい取れば、お持ち帰りもできちゃう！ところが、せつかくの花火大会で、おおかみ男が暴れ出しちゃって？！		花火ってどうやって作るんだろう？夜空に打ち上げる仕組みは？絵や文字の花火ってどんな仕掛け？『たーまやー・かーぎやー』って何？夏の定番の花火を、写真とイラストを たっぷり使って紹介しているよ！
9		『ぼくのジイちゃん』 くすのきしげのり/作 吉田尚令/絵 佼成出版社		『ほしじいたけほしほあたけ じめじめ谷でききいっぱつ』 石川基子/作 講談社		『寿命図鑑』 いろは出版/編著 山口かおり/絵 いろは出版
		運動会の応援に、田舎からやってきたジイちゃん。「テーシャツ」のすそをズボンに入れて、いつもにこにこ笑っているだけのジイちゃんは、なんだかカッコ悪い。でも、ジイちゃんには、ほくが知らない、すごい秘密があったんだ…。		大風で遠くへ飛ばされてしまった、ほしじいたけ。そこに大きな黒い影が忍び寄る。ほしじいたけと、助けに行ったきのこの子どもたちの運命は…？		みんな、いつか死んでしまう。動物、人、建築物、天体。この世のすべてを13のカテゴリーに分けて、324個の寿命とそれにまつわるエピソードを集めた図鑑です。

◎ よもよも原稿 2018.10月~2019.3月

月	ていがかねんから		中学年から	高学年から	
10		『おおきなかぼちゃ』 エリカ・シルバーマン/作, S.D.シンドラー/絵, おびか ゆうこ/訳 主婦の友社 あしたはハロウィンのおまつり!! 魔女はこの日の為、大事に大事にかぼちゃを育てます。ところが、このかぼちゃ! 育ちすぎて魔女より大きくなっちゃった! 大きすぎてかぼちゃはびくともしません。 「あしたは ハロウィンだったのに!」		『秋のスイーツ』 大森いく子/著 金の星社 「トリック オア トリート!」 ハロウィンの日は仮装をしてお菓子をもらいに行こう! でも忘れちゃいけない大事なこと! ちゃんとお菓子を準備しないと、いたずらされちゃうぞ? さてさて、みんなは何をつくる?	
11		『こんとあき』 林明子/さく 福音館書店 あきの誕生をじっと待っていた、ぬいぐるみのこん。あきのお守り役、遊び相手と活躍しているうちに、こんの腕がほころびてきました。そこで、こんはあきを連れて遠く離れたおばあちゃんに会いに行くことになり…。		『おおきくなるってこんなこと!』 ルース・クラウス/ぶん ヘレンオクセンバリー/え 評論社 春がきて草木も育っていく。ヒヨコも子犬も大きくなります。「ほくも大きくなるのかな?」と、小さい男の子がたずねるともちろんよ!とお母さん。美しい季節のうつかりを背景に少年の成長を描きます。	
12		『サンタクロースのおてつだい』 ロリ・エベルト/文, なかがわちひろ/訳, ベール・フライハーゲン/絵 ポプラ社 とおくてさむい北の国にすむ少女、オンヤの夢は“サンタクロースのおてつだい”。夢のため、旅にでたオンヤをまつであい。オーロラみたり、シロクマとお屋敷したり。旅の先で、サンタとあえるのかな? 写真だからこそそのだいはくりよく。 がハ親子で“家話”してほい! 一冊です		『十二支のはじまり』 岩崎京子/文 二俣英五郎/画 教育画劇 来年は、いのしし年! ってよくくけど、そういえばなんで動物の名前なんだろう。僕らが生まれた年も、動物の名前はあある? どうして、ねこ年ってないの? それは、むかしむかしのとのくれ。神様が、あるおふれをだしたんだって。	『テオのふしぎなクリスマス』 キャサリン・ランデル/文 エミリー・サットン/絵 越智典子/訳 ゴブリン書房 今日はクリスマスイブ。なのに、テオのお父さんとお母さんは仕事で留守。ひとりぼっちのテオは 流れ星に願い事をしました。 「だれかいっしょにいてください」すると壊れたツリーのかざりが…?!
1		『まゆとうりんこ』 富安陽子/文 降矢なな/絵 福音館書店 やまんばの娘まゆは、林の中で迷子になったうりんこ(インシンの子ども)に出会いました。うりんこのお母さんがわりになってあげようと大はりきりのまゆ。うりんこにごはん食べさせたり、子守唄を歌ってあげたりしますが…。最後のまゆとやまんばのシーンにもほっこり。		『ウリオ』 室井滋/文 長谷川義史/絵 世界文化社 小さくて可愛いイノシシの赤ちゃん、ウリオ坊。愛情たっぷり育てられ、あっという間に大きくなってウリオに大変身。でもウリオになった途端、家族みんなに冷たくされてしまい…。実話をもとにつづる、心あたまるお話です。	『いのしし』 前田貴行/写真・文 アリス館 かわいいうり坊と、きびしいお母さん。いのししの不思議な親子関係とは? 短い脚で豪快に山々を駆け巡るいのししたちを追って、六甲山に分け入った動物写真家が、迫力ある写真とともにその生態を紹介します。
2		『としよかんねこ デューイ』 ヴィッキー・マイロン、ブレット・ウィター/文 三木卓/訳 文化出版局 いまから30年くらいまえの、気温マイナス15度というとてもさむい夜のこと。図書館のブックポストのなかに、子ねこがすてられていました。つぎのあさ、助けられた子ねこは、デューイと名づけられ、図書館でかわれることに。これは、どこかに本当にいた、とあるねこのものがたり。		『60秒(びょう)のきせき —子ネコがつくったピアノ曲—』 レスリア・ニューマン/ぶん 小川に央/やく 評論社 とある町の作曲家、モシェ・コテルに助けられた、白と黒の子ネコ、ケツェル。ある日、モシェはなんだか元気がない。あの手紙のせいだ、やっつけちゃえ! けん盤を踏みこえ、ピアノの先にある手紙を目指します。そんなケツェルの行動が、すてきな奇跡を巻き起こし…	『ノラネコの研究』 伊澤雅子/文 平出衛/絵 福音館書店 猫っていつもどこで何してるの? 九州は海辺のとある小さな町。主人公は、そこに住む白と黒のブチ猫、ナオスケ。準備OK! 追跡開始! …って寝ちゃってる。起きるのをじっと待ってみたり、他の猫との遭遇にははらしたり。猫社会も意外と大変! 君の家の近くの猫はどうか?
3		『それなら いい いえありますよ』 澤野秋文/作 講談社 ゲーテラでなまけもの「ぎんた」は、家を散らかしほうだい。ある日、ノラネコの「ちやまる」が、ぎんたの家にやってきました。しかし、鼻をならすとそのまま立ち去ります。ぎんたは、ちやまるのことが気に入り、あとをつけて行きます。実はちやまるの正体は…。とんでもないどんでん返しに、大人も子どもも楽しめるお話です。		『だましえだいく』 青山邦彦/作・絵 フレーベル館 新米大工・ハンツのはたらく現場では、おかしなことが起こります。ハンツは「だましえだいく」と呼ばれ、だれもやとってくれなくなりました。ところが、ある出来事からハンツはみんなにみとめられ…。おはなしを読みながら、トリックアートも楽しめる絵本です。	『ちいさいおうち』 バージニア・リー・パートン/文・絵 岩波書店 静かな田舎に、ちいさいおうちがたっていました。ちいさいおうちは、リンゴの木や畑にかこまれて、たいへん幸せでした。しかし、まわりに工場が建ち、電車が通って、にぎやかな街になりました。ちいさいおうちの周りが変わっていく様子が印象的。本当に大切なものは何なのか考えさせられます。